

持続可能なアート活動のために
労働環境改善ガイドライン策定調査研究事業
—フェメラルラップサークルを活動拠点として—
2025年度 調査報告書



主催 | 一般社団法人鳥取クリエイティブプラットフォーム (TPlat)
助成 | 令和7年度よりん彩活動支援事業補助金
協力 | 子どもの人権広場

1 事業の目的

本事業は、2023 年度及び 2024 年度に実施した調査研究「持続可能なアート活動のために一鳥取の個人的な芸術と労働についての話を収集する」（以下「前年度調査」）に基づき、鳥取県内のアート活動現場におけるジェンダー不平等、不透明な報酬・契約、ハラスメント、および育児・介護との両立困難といった課題の解決を目指すものである。前年度調査では、「アートと労働」を考える上でジェンダーの視点を切り離すことはできないことが明らかになり、特に女性が経験するジェンダーバイアスに起因した労働に対する不当な搾取構造が指摘された。

この現状に対し、本事業では、同意できない状況での「ノー」の重要性や、個人が安心して活動できる環境の必要性を踏まえ、アート活動に携わる人々が直面する具体的な問題を共有し、実践的な労働環境改善ガイドラインの策定を目的とした。特に、フィメールラップサークルを継続的な活動拠点とし、参加者が自身の経験を言語化・表現するプロセスを通じて、ガイドラインとなる「リリック」を共同で創り上げることで、当事者のエンパワメントを促進し、問題解決に向けた具体的なアクションを促す。

2 事業の内容

(1) 調査期間 2025年9月1日～2026年3月31日

(2) 調査対象者

- ・鳥取県内でアートプロジェクトや文化事業の運営、制作等に関わる個人。
- ・過去にハラスメントや報酬・契約の不明瞭さ、育児・介護との両立困難などを経験した者、または現在直面している者。
- ・フィメールラップサークルへの参加を希望する女性。

(3) 調査範囲

- ・アート活動における報酬、契約、ハラスメント、ジェンダーバランス、家庭・地域との関係性、そして仕事と生活のバランスに関する具体的な課題。
- ・これらの課題に対する当事者の具体的な「声」を収集し、それらの課題を解決するための「ガイドライン（リリック）」の作成。
- ・策定されたガイドラインの発表の場づくりと、それを通じた問題意識の普及啓発活動。

(4) 調査内容

1. フィメールラップサークルの定期的開催と相談窓口機能の強化

- ・隔月1回のペースで、フィメールラップサークルを継続的に開催した。
- ・サークル内では、前年度調査で浮き彫りになった女性たちが抱える抑圧や孤立、暮らしの中で発生する様々な「労働」に関する具体的な悩みや体験談を共有する場とし、サークルが一種の「相談窓口」としての役割を担えるよう運営した。
- ・平日開催ということもあってか前半は参加者が伸び悩んだが、3月20日のライブ開催直前から新規参加者があった。

日程 | 2025年5月22日(木)、7月17日(木)、10月2日(木)、11月27日(木)
 ※13:00からの第二部のみオンライン開催、12月11日(木) ※13:00からの第二部のみ、2026年2月26日(木)、3月20日(金・祝) ※サークル活動後 15:00-16:00 ライブ「My Rhyme, My Rights」開催

時間 | 第一部 12:00-13:00 レクチャー ※初参加者対象

第二部 13:00-15:00 サークル ※レクチャーを受けた方対象

ファシリテーター | 岡田有美子(キュレーター)、水田美世(TPlat事務局)

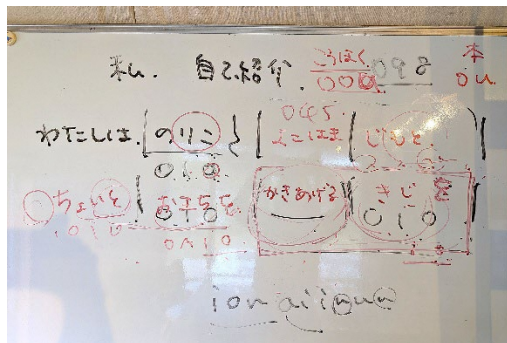
場所 | ちいさいおうち(鳥取県米子市皆生温泉 2-9-36)

参加費 | 第一部 2,500円 / 第二部 500円(第一部から続けて参加の方は無料)

※お茶・お菓子付き。レクチャーは昼食をとりながらの参加も可能とした。TPlatのメンバーシップ割引適用イベントとした。

対象・定員 | 女性限定・6名程度

参加者 | 計30名(5月22日5名、7月17日4名、10月2日4名、11月27日4名、12月11日4名、2026年2月26日3名、3月20日6名)



2. ラップリリックを通じたガイドラインの共同策定

- ・サークルで共有された具体的な問題点や、理想とする労働環境、公正な報酬や契約のあり方、ハラスメントへの「ノー」の表明方法などをテーマに、参加者とファシリテーターが共同でラップリリック『My Rhyme, My Rights』を創作した。
- ・「個人的なことは政治的なこと」を強く意識し、参加者の個人的な経験や、ヒアリング内容からの個別具体的な事象を意識的に盛り込んだ。
- ・リリックの最後には、2023年度以来のヒアリングから抽出した調査対象者の言葉を

「パンチライン」として抜き出し、それらを漏らすことなく全て採用した。

3. ラップ音源の制作と発表を通じた社会発信

・完成したラップリリック『My Rhyme, My Rights』は、プロの協力を得てラップ音源として録音・制作するとしていたが、音源制作を自ら希望するメンバーが 2026 年 2 月に加入したことから、次年度の活動とする。

・制作したリリックは、フィメール・ラップ SAN-IN 2025 ラップライブ「My Rhyme, My Rights」でお披露目し、ガイドラインの内容を芸術表現として発表。会場の参加者の満足度は高く、問題意識の共有と解決に向けた議論を喚起させることができた。日本海新聞でも 2 回に渡り掲載され反響が大きかった。

・ラップライブ「My Rhyme, My Rights」では、ガイドラインとしてのリリック『My Rhyme, My Rights』の他、メンバーが個別に作成したラップ作品の発表もあわせて行った。複数のトラックを合わせて発信することで社会への影響力を増すように今後も活動設計したい。

フィメール・ラップ SAN-IN 2025 ラップライブ「My Rhyme, My Rights」

日程 | 2026 年 3 月 20 日 (金・祝) 15:00-16:00

ファシリテーター | 岡田有美子

フィメール・ラップ SAN-IN メンバー | 安達律子、岡田有美子、福間久美子、水田美世 (Mi-mi Blaze)

参加者 | 13 名 (女性 11 名、男性 3 名)

無料託児サービス利用 | 未就学児 2 名 (1 家族)

託児スタッフ | クローバーキッズ 2 名



3 ガイドラインとしてのリリック『My Rhyme, My Rights』

※別添

4 今後の活用方法

策定したガイドラインとしてのリリック『My Rhyme, My Rights』は、以下の方法で活用・普及を図る。

- 音源の発表（SNS・音楽ストリーミングサービス等の活用を含む）を通じて、広くアート関係者や地域住民に問題意識を啓発し、ガイドラインの内容を浸透させる。これにより、契約関係の明確化や報酬の透明性、ハラスメント問題への対応といった、前年度調査で挙げられた「困りごとを具体的に解決するためのプラットフォーム」の一環として機能させる。
- 2026年度以降もラップサークル活動を隔月開催し、一種の相談窓口として継続させることで、参加者が孤立せずに悩みを共有し、相互に支援し合えるコミュニティを形成する。これにより、ハラスメントの相談窓口や労働問題を解決する仕組みの具体的な実践例として展開を図る。
- 本ガイドライン（リリック・音源）は、鳥取県内のアート団体や文化施設、教育機関などと連携し、新たなプロジェクトの企画・実施時における労働条件の事前確認や改善、ジェンダー平等への意識向上のための参考資料として提供する。
- 今回の成果を今後の当団体の活動に活かし、より持続可能で誰もが安心して参加できるアート活動の現場づくりに貢献する。

5 調査研究を終えて

相談窓口としての機能に関して言及すると、2025年度は、具体的な相談事例が1件共有された。それは解決を求めるアクションを所轄するコンプライアンス委員会に訴えたが解決されなかったという事例であり、そうした行き場のない最終的な思いを受け止める場所としてラップサークルは期待されたことが分かる。必要に応じて外部の専門家（弁護士、税理士など）への相談機会の提供や個別の事例解決を目指すという手段に加えて、社会の意識改革を図るためのラップでの発信が、ともすると遠回りのように見えるが、実は非常に効果が高いのではないかと感じた一件だった。

完成したリリックは、加入した新規メンバーを中心に2026年度は音源作成と公開を実施していく。共同制作した『My Rhyme, My Rights』に加え、2026年度は、「報酬のガイドライン」や「契約書の雛形」等をテーマとしたリリックを複数制作し、トラックを増やして発表することで、より多くの人に届きやすく、埋もれがちな当事者としての権利意識を喚起させて、記憶に残りやすいものとしていきたい。

また、依頼があった際や事務局側で必要性があると判断した場合に県内外のアート関係者への非公開ヒアリングも検討したい。了解を得た上でヒアリング内容をラップリリック

へ活かしていく所存。

6 関連資料、メディア掲載実績

(1) ウェブメディア「+〇++〇 (トット)」掲載

フィメール・ラップ SAN-IN 2025 ラップライブ「My Rhyme, My Rights」レポート
https://totto-ri.net/report_femalerap_san-in_liveshow20260320/

(2) 日本海新聞記載

2026年3月10日「女性の生きづらさへ反抗の“怨念”、ラップ完成 米子、20日のライブ
でお披露目」

2026年3月25日「生きづらさ訴える言葉並べ制作サークルがライブ女性への抑圧、ラッ
プで反抗」

持続可能なアート活動のために
労働環境改善ガイドライン策定調査研究事業
—フィメールラップサークルを活動拠点として—
2025年度 調査報告書

発行日 | 2026.3.31

報告書作成 | 岡田有美子・水田美世・竹内潔

発行 | 一般社団法人鳥取クリエイティブプラットフォーム (TPlat)

